



福岡県知事候補 お金をみんなへシン独立党公認

のぶお

しんじろう 伸夫 (76歳)

公約

①ワンヘルス即時中止

動物の為ではなく、県民の為に適切に予算を組んで実行します。現知事・議員らの悪政をやめさせます！

②ベーシックインカム導入

人口減少には真剣に対応しなければなりません。口先だけで危機を煽る自民党や県政与党には投票してはいけなと考えます。金持ちさえ結婚できて、子供を作ればそれではないです。「貧乏人の子沢山」が実現できて初めて、人口は現状維持から上昇に転じます。金がなくても子供を出産できるようにします。対応策は、我が党が主張している「ベーシックインカム22万円／1人」であります。子供を産み育て、親ないし保護者には充分な利益が出るのでなければいけません。親や祖父母の代までは、十歳になれば子供は家業を手伝うこともできました。そこで、子供や胎児(妊娠55日以後)にもベーシックインカムを支給することを、しんじろう伸夫は一貫して主張しております。(子を産み育てる保護者が報われるように、保護者それぞれ1.5票を行使する)すなわち、子供が1人いれば、親それぞれ33万円を毎月支給し、保護者が1人になれば44万円を支給致します。人間1人が生きるのに、毎日7千円は必要でしょう。人が働かなくなっても構いません。その代わりに質の高い勉強をして悟り、「良い人」になれば、自然に他人の為に尽くすことでしょう。金が入れば遊興にふけったり、酒浸りになる人は1%位でしょう。それが心配なら生活保護も支給できない。

③道路・下水道の整備

福岡県下の下水道を全て地中レーダー探査で調査、予防的に改修します。次に県下の全ての道路も、県道をはじめとして調査し、異常があれば補修致します。福岡県下の全域に下水道を整備します。また室内トイレの設置に補助金200万円を支給致します。トイレの改修にも補助金50万円支給します。

④県民税廃止

県民税は廃止し、財源は県債とふるさと納税・地方交付税などとします。また、暗号通貨の開発も奨励致します。

⑤コロナワクチン救済

服部知事は「おもいやりワクチン」等と安全性も保証されていないコロナワクチンを推奨したのがよくなかったです。ワクチンにはさまざまな副作用があり、日本全国で数十万人もの死者が出ています。コロナワクチン関連の補償金1000万円(1人当たり)を、一時的にはあれ妊娠55日以後の全県民に支給します。

⑥相乗り5政党よ、さようなら

服部氏を推薦している自民、公明、立憲、国民、社民を、私たちは「福岡県民連合」や諸派の政治団体の応援を受け、打倒します。古い政治にさようなら！財務省解散すなわち解体。

⑦オーバーツーリズム対策

福岡県は、豊富な観光資源を有し、多くの外国人観光客を迎え入れています。しかし、観光客の急増に伴い、地域住民の生活や環境に悪影響を及ぼす観光公害(オーバーツーリズム)が問題となっています。対応策としては、外国人観光客に関する条例の制定を検討します。また、ホテル等の誘致も検討します。

『応援』自立と共生

細川博司

福岡諸派連合 財務省解体